

私募債手数料で 幼保園に紙芝居

大垣西濃信金

大垣西濃信用金庫は、大

垣市上面の木材加工販売・建築請負「八屋産業」が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、同市東町の三城幼保園にしつけや行事の由来などを学べる紙芝居7セットを寄贈した。

企業の私募債発行で同金庫が受け取る手数料の一部で、企業が指定する団体や学校に物品を寄贈する取り

組み。八屋産業は今春に開園した三城幼保園の内装造作を担当。材料は同市上石津町でスギを伐採、製材、加工し、壁面などを施工した。

贈呈式が同園で行われ、鈴村広敏社長が年長児ら約50人の前で「未来を担う子どもたちに紙芝居を通じて豊かな心を育んでもらいたい。これからも企業は地域とともにあるべき、との理念で経営していきたい」とあいさつした。同金庫鶴見町支店の木下英範支店長とともに、山田朋子園長に目録を手渡した。

(古家政徳)



紙芝居を贈り、園児たちと記念撮影する鈴村広敏社長(前列中央)ら＝大垣市東町、三城幼保園